

## 研究の成果と課題・対応策

### (1) 成果

#### 〈児童生徒〉

- ・学校行事では、地域の方々から直接指導を受けることで、あいさつや感謝の心の大切さ、伝統を受け継ぐことの素晴らしさを感じることができた。
- ・地域行事に参加することで、地域の自然の豊かさや文化の大切さを肌で感じ、地域への思いを深めることができた。
- ・小中合同体験活動では、作物を育てる喜びを味わい、異年齢交流を通して、人との関わり方を学ぶことができた。
- ・道徳の授業を通して、お世話になっている身近な人達に感謝しようとする心情が高まり、それを伝えることができるようになってきた。

#### 〈教師〉

- ・体験活動の振り返りや日常生活の体験を生かす工夫をしたことで、児童生徒の心情が把握でき、授業や指導に生かすことができた。
- ・体験活動をもとに道徳の授業を充実させるため、小学校では「総合単元的道徳学習全体実践図」を作成することで、見通しをもって取り組むことができた。

### (2) 課題

- ・体験活動と道徳の学習を関連させるために、見通しと計画性を持った指導のさらなる充実が必要である。
- ・体験活動を授業に生かし、心豊かな児童生徒の育成を図るため、事前・事後指導の工夫・改善が必要である。
- ・天候に左右されやすい行事などは、綿密な活動計画の立案が必要である。

### (3) 対応策

- ・課題を含め、今後、地域との関わりを生かした活動と各領域・各教科の内容を深めていけるよう、年間指導計画の見直しを図る。
- ・はぐくまれた豊かな心を日常生活において発揮できるよう、学校・地域・家庭の連携を深める。